

No. 1175

# アメリカ建国200年祭

406  
木

— 林・池 特派員 —

超高層ビルが群林するニューヨーク。20世紀の文明がすべて集約されたアメリカ合衆国は今年建国200年を迎えた。1620年、9月6日、102人のイギリス人が乗ったメイフラワー号が新大陸バージニアをめざしてイギリスを出航。メイフラワー号は幾度かのシケに合いながらも9週間の後、11月9日、ケープコッドを発見、12月21日古都ボストンの近くプリマスに上陸した。新大陸への第一歩を記した岩の表面には上陸年次1620が刻み込まれている。プリマス、プランテーションは当時の集落と生活を復元した「生きている民族博物館」である。プランテーションでの生活は厳しく、うたと寒さで入植者の半数が死んだ。が、彼らの不屈の精神によって開拓は続けられた。文化と歴史の町、ボストン、ボストンは独立を勝ち得たアメリカ人の心のふるさとである。オールド・ステート・ハウス。1776年独立宣言書はこのバルコニーで高らかに読みあげられた。歴史上の人物が葬られているグラナリー墓地。

7月4日、フィラデルフィア・インディペンデンスホール広場。『一つの目標を達成したら次の目標を見ず。アメリカの冒険に終わりはない』10万人を超す市民を前に演説するジェラルド・フォード第38代大統領。

これより先、6月18日、日本では青年の船がアメリカの建国記念日に向け出発した。これは建国200年を祝って政府が派遣したもので、116年前の日米修好通商条約でアメリカに渡った咸臨丸と同じコースで太平洋を横断した。

建国200年にわくアメリカ。自由・平等・自立独立の建国精神に立ち返ってアメリカは今第三世紀へ歩み始めた。